

北海道地域貢献活動指針の概要（案）

R 5. 4 改訂版

～望ましい地域貢献活動の展開への指針～

第1章 策定の趣旨

本指針は、条例に基づき、事業者、小売事業施設設置者、商工関係団体による地域貢献活動の望ましい姿を提示する指針として策定。本指針に基づき、地域のまちづくりに配慮した活発な地域貢献活動を促進。

第2章 地域貢献活動の意義

地域貢献活動は、社会貢献活動の中でもより地域に密着したものととらえ、自らの活動によって社会や環境に及ぼす影響も認識し、地域の声を聴き、事業者等が関係者と一体となって自発的、積極的に取り組んでいくもの。

地域貢献活動の取組では、事業者等も地域社会を形成する一員との考えのもと、地域のニーズやまちづくりとの調和に配慮しつつ、地域のまちづくりを先導する提案型の観点と地域課題の解決への協力や地域行事への参画といった協働・相互扶助型の観点をバランスよく検討。

第3章 地域貢献活動の実施にあたって

1 地域貢献活動の取組状況

地域貢献活動実施状況報告書によると、「地域との連携促進」の活動における「地域団体・組織への加入状況」では、商工会議所・商工会への加入が最も多く、次いで、商店街組織への加入、町内会への加入となっており、約4割の事業者は複数の団体・組織にも加入。

また、「地域基盤の形成・維持」の活動における「地域や道内からの雇用の推進と安定的な雇用の確保」では、パート・アルバイトや従業員の地元採用の取組が多い状況。

2 求められる地域貢献活動

道民意識調査等では「地域における安定的な雇用の確保」、「地域イベントや各種行事など地域づくりへの参加、協力」など地域に密着した取組や地域との協力関係の構築を求める声が多い。

また、市町村アンケート調査では、期待する活動として「地域の雇用の推進と確保」が最も多く、次いで、「まちづくりの取組への協力」、「観光振興の取組」への期待が高い。

3 地域貢献活動の実施にあたって

地域の声を踏まえた取組の実施と、取組の実績や成果をわかりやすく説明し、地域の理解を得ることが重要。地域貢献活動の担当者の設定、地域との意見交換に努めるなど、地道な取組を継続し、地域にとってわかりやすい活動の推進が有効。

第4章 地域貢献活動の望ましい姿

地域で期待される地域貢献活動の参考となる事例を紹介

1 地域との連携促進

「地域団体・組織への加入」、「地域との意見交換の推進」、「地域活動等への支援・協力」、「消費生活の安定・経済活性化への協力」

2 地域基盤の形成・維持

「地域や道内からの雇用の推進と安定的雇用の確保」、「ゆとりある勤労者生活の確保」、「従業員の職業能力開発の推進」、「地域の防犯活動等への参画・協働」、「地域防災活動等への協力」

3 まちづくりへの協力

「市町村等の取組への協力」、「地域における魅力ある景観形成への配慮」、「環境美化対策の実施」、「観光振興の取組」、「子ども、高齢者、障がいのある人等への配慮」

4 環境・エネルギー対策

「ISO14001の導入など環境全般への配慮」、「3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進」、「エネルギー対策の実施」、「地球温暖化対策の実施」